

Get Back on Track

#endtheepidemics

地球規模感染症の終息のために
取り組みを再び軌道に乗せる

グローバルファンド活動者ネットワーク（GFAN）は、国際保健に関わる連合体として、エイズ・結核・マラリアの終息に向けた取り組みを再び軌道に乗せるために直ちに行動することを呼びかけます。

政策専門家および政策決定者の皆様：エイズ・結核・マラリアへの取り組みが目標達成への軌道を外れており、この三大感染症を終息させるための取り組みを再び軌道に乗せるには、新たな戦略の構築が必要であることを認知し、はっきりと認め、多くの人の関心を引き付けてください。

国際保健に関わる技術的パートナー、特に世界保健機関（WHO）、国連合同エイズ計画（UNAIDS）、ストップ結核パートナーシップ、ロールバック・マラリア・パートナーシップの皆様：これまでの進捗と課題について再評価し、現時点から三大感染症の終息に向けてどんな軌道が引けるのか、また、それに必要な資源はどの程度かについて再計算して示してください。

グローバルファンドの皆様：これまで数多くの成功を記録し、感染症への資金拠出対応において中心的な役割を果たしてきたことを踏まえ、不作為の代価は高くつくことをアピールし、2020-22年の増資に向けて、野心的な資金獲得目標を設定してください。

援助国および実施国の皆様：三大感染症への取り組みの緊急性と現状の危機について認識し、遅滞なく資金動員を行うようお願いいたします。**WHOやUNAIDSをはじめとする技術パートナー機関は、2030年にエイズ・結核・マラリアを終息させるために必要な資金を年間460億ドルと見積もっています。GFANは、そのうちグローバルファンドが貢献しなければならない金額について、2020-22年の次期増資期間3年間の合計で168億ドル～180億ドルと見積もっています。**援助国政府は、上記増資期間に向けて資金誓約を拡大し、なるべく早く発表してください。

市民社会の活動家の皆様：エイズ・結核・マラリア対策プログラムを含む保健に向けた国際援助の金額を大胆に増額すること、すべての政府が、すべての人の健康に責任を持つことを確約し、保健に向けた強くしなやかで持続可能なシステムを構築することを大胆に要求してください。



もし世界が、エイズ・結核・マラリアの三大感染症対策のための投資を今のレベルにとどめるなら、2025年および30年を期限とする世界の目標は達成できません。

地球規模感染症の終息のために
取り組みを再び軌道に乗せる



Get Back on Track To End the Epidemics

#endtheepidemics

地球規模感染症の終息のために
取り組みを再び軌道に乗せる

警告：

N三大感染症に関する新たなデータによれば、世界は三大感染症の終息に向けた軌道から外れており、対策資金の金額が現状にとどまれば、2030年を期限とする目標の達成は不可能です。

HIVは15-49歳の女性の死亡の主要因となっているほか、同じく15-49歳の人口における障害の5%を引き起こしています。現在、地球上には3760万人のHIV陽性者がおり、年間180万人が新たに感染しています。

結核は現代世界で最も多くの人々の命を奪っている過酷な感染症であるとともに、HIV陽性者の命も一番奪っています。世界全体で年間1000万件の感染があり、180万人が命を失っています。世界人口の4分の1は結核の保菌者であり、それ以外の多くの人々も、感染・発症する可能性があります。

マラリアは2016年一年間で2億1600万人が感染し、5歳以下の子ども28万5千人をふくむ44万5千人が命を落としています。マラリアはいまだに、子どもの死亡に関する主要な脅威の一つであり、現状、2分に一人の割合で、子どもたちがマラリアで死んでいます。

世界は三大感染症を制圧できなくなる
危険に直面しています。

地球規模感染症が制圧できず、
状況が悪化すれば、数えきれないほど
の人の命が奪われ、経済開発・
人間開発は行き詰まり、この地球に
住むすべての人の保健に関わる
安全保障が脅かされます。



報告書完全版が欲しい方

Get Back on Track
#endtheepidemics

以下のサイトにどうぞ：

www.globalfundadvocatesnetwork.org